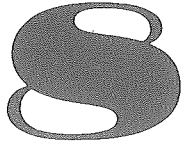


SHIRAKOBATO

しらこぼと

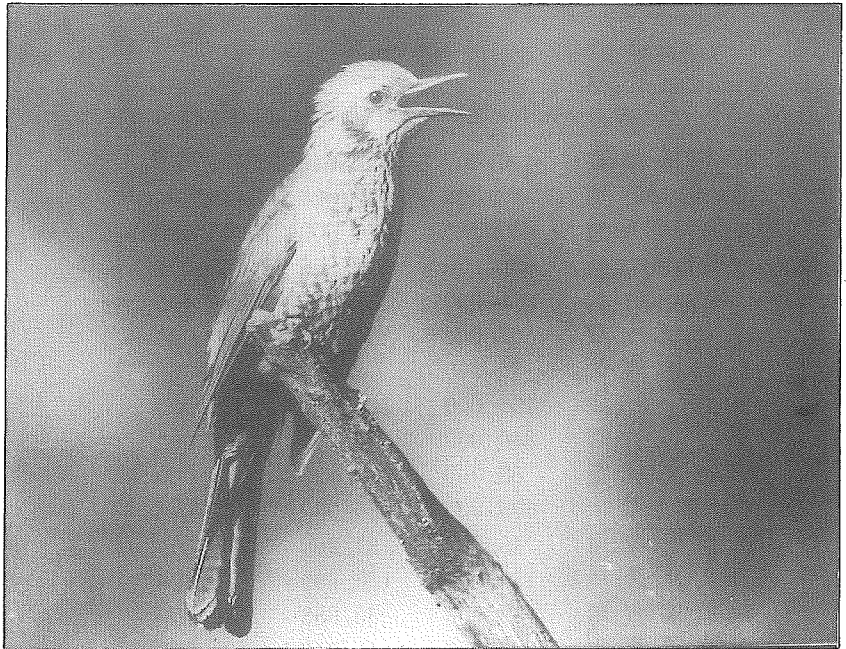


1990.



SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 75

日本野鳥の会 埼玉県支部

本年度も会費値上げしません

6月24日開催された第6回総会において、本年度も会費を値上げしないことが決まり、2年度事業計画としては、「個々の自然保護活動が成果をあげるには、それを支える社会的な基盤が必要である。その自然保護思想の社会への浸透のため、私たちは基本的な知識・思想の普及に最も重点を置く」との基本方針が採択されました。

平成元年度収支決算書・2年度予算書

収入の部

| 項目 | 元年予算額 | 元年決算額 | 2年予算額 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 期首繰越金 | 2,587,433 | 2,587,433 | 2,713,791 |
| 会費収入 | 1,876,200 | 2,067,300 | 2,480,000 |
| 寄付金収入 | 250,000 | 709,889 | 300,000 |
| 探鳥会等参加費 | 220,000 | 186,461 | 200,000 |
| 指導謝礼金 | 100,000 | 7,065 | 10,000 |
| 雑収入 | 100,000 | 87,686 | 90,000 |
| 委託事業費 | 620,000 | 620,000 | 0 |
| 補助金 | 200,000 | 0 | 400,000 |
| 仮払精算金 | 0 | 7,630 | 0 |
| 事業部売上金額 | 1,000,000 | 2,279,640 | 1,500,000 |
| 合計 | 6,953,633 | 8,553,104 | 7,693,791 |

支出の部

| 項目 | 元年予算額 | 元年決算額 | 2年予算額 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 什器備品費 | 400,000 | 199,619 | 1,000,000 |
| 消耗品費 | 42,000 | 30,326 | 40,000 |
| 支部報印刷費 | 1,000,000 | 981,500 | 1,300,000 |
| 支部報送料 | 500,000 | 460,266 | 600,000 |
| 印刷コピー代 | 216,000 | 137,677 | 200,000 |
| 通信費 | 162,000 | 180,166 | 220,000 |
| 交際接待費 | 30,000 | 6,000 | 10,000 |
| 雑費 | 198,000 | 185,195 | 220,000 |
| 家賃 | 840,000 | 840,000 | 950,000 |
| 水道光熱費 | 60,000 | 39,122 | 48,000 |
| 委託事業費用 | 620,000 | 620,000 | 0 |
| 総務部費用 | 45,000 | 51,200 | 165,000 |
| 普及部費用 | 155,000 | 126,659 | 110,000 |
| 編集部費用 | 32,000 | 39,688 | 40,000 |
| 研究部費用 | 36,000 | 41,913 | 30,000 |
| 事業部費用 | 11,000 | 31,637 | 20,000 |
| 事業部仕入額 | 800,000 | 1,868,329 | 1,230,000 |
| 仮払金繰越分 | 0 | 16 | 0 |
| 繰越金 | 1,806,633 | 2,713,791 | 1,510,791 |
| 合計 | 6,953,633 | 8,553,104 | 7,693,791 |

予想外に好調の会計内容

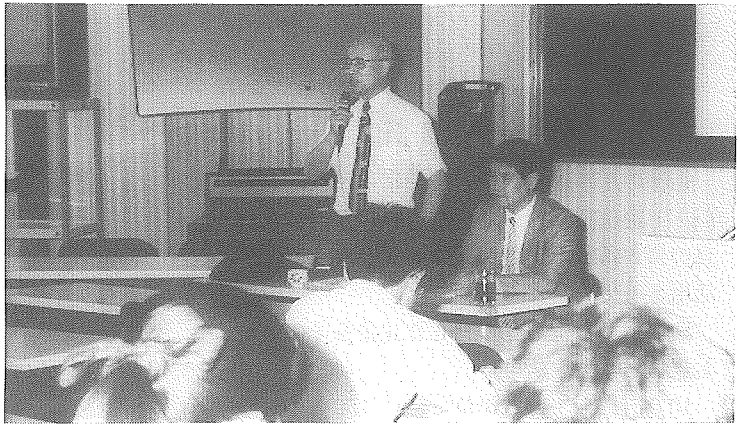
高かった会員増加率(27.3%)、それともなう会費収入増、大きかった寄付金収入、目標の2.3倍近かった事業部売上げ、什器備品費などの経費節減の努力などが効をそうして、期末繰越金が予算額を90万円以上上回り、期首繰越金より増加する好調ぶりでした。

皆様のご協力本当にありがとうございました。

- ① 元年度寄付金には、委託事業担当ボランティアたちからの寄付金が約40万円入っています。
- ② 2年度からは委託事業はありません。
- ③ 補助金は、元年度分も2年度にまとめて入金されることになりました。
- ④ 2年度は什器備品費として、パソコンのハードディスクやプリンターの購入などが計画されています。かつて無料で寄贈を受けた複写機も、だいぶ老朽化してきました。
- ⑤ 2年度総務部費用には、関東ブロック会議を、年度内に当支部が担当することが予定されていますので、その対策費が含まれています。
- ⑥ 昨年度まで収支表にまとめて記載していた在庫品は、別記載にしました。
元年度期首在庫品 242,671円
元年度期末在庫品 300,209円
差引き増加額 57,538円
- ⑦ その他の財産的事項としては、敷金 70,000円があります。

総会の内容

司会・岡安征也、来賓挨拶・森下強（本部総務部長）、開会の挨拶・鈴木忠雄支部長、顧問挨拶・堀越照雄顧問、メッセージ紹介・田村照治顧問、議長・榎本秀和、書記・杉本秀樹、議事録署名人・手塚正義 町田好一郎、議案説明・海老原美夫事務局長、役員代表者挨拶・中島康夫、閉会の挨拶・松井昭吾副支部長 受付など手伝ってくださった方多数。ご苦労さまでした。



挨拶する鈴木支部長と（その右）森下総務部長

役員体制ほぼ前年どおり

総会とそれに続く役員会議において、2年度役員は次のとおりに決まりました。

顧問 今井 昌彦（熊谷市）
田村 照治（寄居町）
堀越 照雄（熊谷市）
支部長 鈴木 忠雄（熊谷市）
副支部長 松井 昭吾（大宮市）
海老原美夫（浦和市）
幹事 伊藤 芳晴（浦和市）〔新〕
榎本 秀和（鴻巣市）
岡安 征也（北本市）
小淵 健二（深谷市）
笠原 伸子（浦和市）〔新〕
北川 慎一（本庄市）
草間 和子（浦和市）
黒田 佳子（新座市）
小荷田行男（浦和市）
小林みどり（藤沢市）
杉本 秀樹（杉並区）
諏訪 隆久（熊谷市）
手塚 正義（川口市）
登坂 久雄（八王子市）
中島 康夫（蓮田市）
乗田 実（上尾市）
長谷部謙二（川越市）
林 滋（美里町）
福井 恒人（浦和市）
藤原 寛治（浦和市）
町田好一郎（本庄市）

森本 國夫（熊谷市）

山部 直喜（越谷市）

渡辺 周司（大宮市）

監事 石川 敏男（春日部市）

楠見 邦博（浦和市）

幹事として活躍された新井清子さん（寄居町）は退任されました。ご苦労さまでした。

新役員紹介



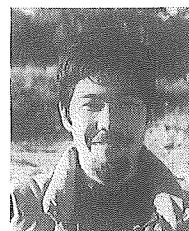
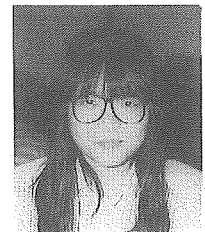
伊藤芳晴（浦和市）

2年前の20代の写真です。ビールが好きです。ビールさえあれば、ガールフレンドなんかいません。

笠原伸子（浦和市）

アラレちゃんです。ペングイン村の仲間たちとがんばっています。

抜群のパワーですが、残念ながら空は飛ばせません。もうすぐです。



長谷部謙二（川越市）

実は20代の心やさしいヒゲのオニイサンです。決して、絶対に、ヒゲのオジサンなんて言わないでください。

ご紹介します※※※※※※

バード信託

皆様のご厚志をバード信託にお預けください。三菱信託銀行が運用し、収益金を日本野鳥の会が各種の野鳥保護プロジェクトなどに活用させていただきます。

満期時には、お預かりした元金をそのままお返しします。

10万円以上1万円単位で、いつでも申し込みます。信託期間は5年間。原則として中途解約は出来ません。満期日までに申し出のない場合は、自動的に5年間延長されます。

元金は法律で保証されています。

郵便局から簡単に手続きできます。

専用振替用紙を三菱信託銀行で受け取り、必要事項を書き込んで、お金を添えて郵便局の窓口どうぞ。



(カット・押川歳子)

日本野鳥の会カード

日本で初めての自然を守る国際クレジットカードです。カードをご利用いただくと、利用代金の0.5%が日本野鳥の会へ提供され、自然保護に役立てられます。

普通のクレジットカードとして利用できます。オリエントから野鳥の会に0.5%分が提供されるだけで、利用者はその分の負担がかかるわけではありません。

オリエント加盟店、UC加盟店、VISA

加盟店、マスターカード加盟店、JCB加盟店で利用できる3種のカードがあります。

海外旅行の際は自動的に海外旅行傷害保険がつきます。お買い物は1回払いでも、20回までの分割払いでも。キャッシングその他、各種サービスもあります。

日本野鳥の会本部カード係(TEL 03-406-7460 企画事業部)に申込み用紙をご請求ください。

作品募集 ネイチャーフォトコンテスト 1990

作品対象：①野鳥部門 県内に生息する野鳥
(特別な背景でなければ県外の撮影でも可)

②その他の部門 県内の風景・昆虫・植物などのすぐれた自然

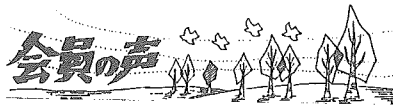
募集期限：9月10日まで

応募方法：キャビネくらいのプリントに、①部門の場合は鳥種名、②部門の場合はタイトルと、スライド原版またはネガ、撮影データ・200字く

らいの短文を添えて、支部事務局まで。

ご注意：巣のまわりで細工するなど、マナーに反して撮影された写真は、いっさいうけつけません。

入選作は、今年も11月に予定している展覧会で展示するほか、『しらこぼと』の表紙など、さまざまな支部活動に1年間活用させていただきます。1年たちましたらネガなどはお返しします。



ベランダの足跡

榎本みち子（鴻巣市）

爽やかな5月の朝。洗濯物を干しに2階のベランダに出たら、手摺に何やら鳥の足跡。それも7cmほどの手摺の幅いっぱい、大きなのがテンテンと。

ゆうべ私達が眠っている間に、雨戸一枚隔てたこんな近くに、いったいどんな鳥が翼を休めていったのだろう。足跡から察すると、かなり大きな鳥？ 渡りの季節だから、もしかするとすごい珍鳥だったかも…この足跡も人里離れた神秘の沼の泥…いや、遠い外国の湖のものかもしれない…などと考えていたら、ワクワク楽しくなってきた。

「夜は人間が見ていないだけで、いろいろな鳥が飛んでいるんだよ」って、いつか主人が言っていた。きれいな月夜の晩に、屋根の上でそんな鳥達をウオッチングできたらステキ。夜眠ってしまうのが、惜しくなるような足跡デシタ。

三宅島探鳥会にて

中村涼子（清瀬市）

富賀山・伊豆岬

朝の雨晴れて離島の晩き春
ちどり飛ぶ低くあるひは高く飛ぶ
かつおどり渡る春汐ひるは風ぎ
溺者供養塔海に向き春岬
春ちどり見し目を転じ燈台に

大路池周辺

朝雉やめおとらしくて見え隠れ
山笑ふ腰赤つばめ岩つばめ
野あざみや赤コッコゐる土濡れて
竹秋や径をよぎりしカラス鳩
駒鳥や島に音なく春深し
鴨引きし山湖に一羽あいさ浮く

三室空港・牧場多し

春しぎの飛機滑走にかかはらず

むなぐろの一羽はぐれし春嵐
島の牛朝を睡たく草若葉
離島にも民宿百戸鳥ぐもり

カルガモ親子

諸徳寺六十五（大宮市）

カルガモの子供達に人気が集まり、三室の探鳥会でも目玉となっているようですが、その中には人間と同じようにヤンチャな奴も居るようで

“軽鳧の子の猛き一羽は列離れ”

親鴨の後に小さいのが一列になって従って行くのは正に楽しい風景ですが、この子達も間も無く親を凌ぎ大きくなります。すると親子の別離の刻が来るわけです。

“列組みて別れる前の軽鳧親子”

注：軽鳧はカルガモともカルとも読む。

北辺の地のゴルフ場計画

小荷田行男（浦和市）

北海道東部、根室、釧路地方は4月下旬から9月中旬まで海霧の季節となります。乳白色のスープの中につかった様に5mの視界もききません。

根室、花咲半島の根元、風蓮湖南部、国道44号線沿いにゴルフ場計画がもちあがり、根室の町は農協、漁協、自然保護団体、行政当局入り乱れて賛成、反対に分かれゆれ動いています。116haの原野と40haの農地(牧草地)をあわせ、サケの登る別当賀川沿いに30億円を投入し、シマフクロウ、クマゲラ、オジロワシの生息するミズナラーダケカンバーミヤコガサ二次林の丘陵地とハンノキーキタヨシ湿原を埋め立てコースを造成します。大手民間デベロッパーから見放され、地権者が根室の経済人と本州の地方民間資本を導入してのリゾート開発です。

無雪期7カ月のうち、その2/3以上が海霧期であるため、年間のプレー可能日数が少なく資金回収計画もあいまいで、建設後の地元環元も少ないゴルフ場計画です。その背景には、日ソ・サケマス交渉に代表される遠洋漁業の縮小による根室経済界、特に水産業及び関連産業の転業の姿があります。

野鳥情報

ヨシゴイ ◇5月6日、浦和市の秋ヶ瀬橋付近で1羽(近藤 崇)。◇5月17日、幸手市中原で2羽(秋間利夫)。
アマサギ ◇5月1日、幸手市中原で2羽(秋間利夫)。
ホシハジロ ◇5月8日、本庄市の阪東大橋下流でカルガモ群れ中に♂2羽(町田好一郎)。
ツミ ◇5月6日、新座市の平林寺境内で1羽。境内散策中に足元に丸い物がついたヒヨドリらしい鳥が枝にとまっているのを見つけ、双眼鏡をむけると獲物を握った猛禽でした。アッと思ったその瞬間に飛び去ってしまいましたが、眼の色、胸の模様、大きさからツミと思われます。(鈴木桂子)。
◇5月12日、秩父市上宮地町上空で♀1羽(宮崎章次)。
ノスリ ◇4月9日、毛呂山町大谷木の自宅上空で1羽。旋回中、カラスに追われて逃げ去る(前田真由美)。
サシバ ◇4月27日、寄居町風布沢で落鳥を1羽保護。熊谷市の川田動物病院へ委託する(田口浩司)。
ヒクイナ ◇5月27日、浦和市の国昌寺付近で1羽(小谷野勝栄)。
タマシギ ◇5月18日午後5時~5時30分、幸手市中原で♀2羽♂1羽(秋間利夫)。
オオバン ◇4月28日、戸田市道満で1羽。5月12日には2羽見られた(駒崎政雄)。
ムナグロ ◇5月9日午後5時頃、大宮市二ツ宮の東京健保組合運動場南西の自転車道脇の草原で約150羽(松尾英美)。
コシャクシギ ◇4月29日~30日、浦和市秋ヶ瀬の大久保農耕地で1羽(登坂久雄)。
チュウシャクシギ ◇5月1日、幸手市中原で3羽。毎年5月になると寄って行くようです。日付も正確です。カレンダーを持っているのかな(秋間利夫)。
タシギ(部分白化) ◇4月29日、狭山市の入間川、広瀬橋上流で1羽。左右次列風切羽が数枚まっ白な個体を発見。最初は新種

発見と思ったのに(三田長久)。
アカエリヒレアシシギ ◇5月3日及び12日、戸田市道満で1羽(駒崎政雄)。
ツバメチドリ ◇5月6日午前6時30分、本庄市の阪東大橋下流の30m×100mの中州で♂♀各1羽。交尾を確認する。今年も繁殖が期待される。5月26日午後5時30分、同市の阪東大橋下流1.5kmの砂利だけの中州で「ヨチヨチ」歩いているヒナ1羽を発見する。2~3分後、成鳥2羽が無い降り、虫と思われる餌を与えているのを観察する。他の巣の中でも2~3の黒い影が動いているのが確認できるので、続いてのヒナ誕生が期待できそうです(町田好一郎)。
コアジサシ ◇4月28日、狭山市の入間川、本富士見橋で1羽(三田長久)。◇5月1日、幸手市の大島新田で2羽(秋間利夫)。
ジュウイチ ◇5月13日、秩父市内で窓ガラスにぶつかった1羽を三峰山で放鳥する(宮崎章次)。
カッコウ(初鳴き) ◇5月6日、浦和市秋ヶ瀬ピクニックの森で(大武百合子、馬場友里恵)。◇5月7日、本庄市の阪東大橋下流のニセアカシアの枝で1羽(町田好一郎)。◇5月8日、深谷市原郷で(荻野登喜治)。◇5月11日、北本市の自宅上空を鳴きながら西方へ(立岩恒久)。◇5月12日、戸田市道満で1羽(駒崎政雄)。◇5月13日、川角駅近くの毛呂山町星宮神社で1羽。高い枯木の枝で、翼を下げた独特の「かっころ」でカッコーと鳴く(増尾 隆・節子)。
◇5月16日、大宮市日進1丁目で(森本國夫)。◇5月16日、浦和市上木崎で(笠原伸子)。◇5月17日、秩父農工で(宮崎章次)。◇5月18日、所沢市の自宅裏の雑木林の奥の方で(水本玲子)。◇5月23日、上福岡市上福岡で(中村 治)。◇5月25日、浦和市三室で(浅沼源太郎)。
ツツドリ ◇4月18日、毛呂山町大谷木の自宅付近で1羽(前田真由美)。◇5月6日、両神村の白井差小屋付近で1羽(宮崎章次)。
◇5月6日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(近藤 崇)。
コノハズク ◇5月6日、両神村の白井差小

屋付近で2羽鳴く(宮崎章次)。

アオバズク ◇4月23日、大宮市の氷川神社で1羽(浅沼源太郎)。◇5月5日、寄居町玉淀で1羽(逸見知代)。◇5月9日~10日午後11時50分~午前0時10分、浦和市の自宅付近で鳴き声を聞く(大武昭雄・百合子)。◇5月14日、秩父神社で2羽(宮崎章次)。◇5月16日、秩父市金室町処理場の林で1羽(宮崎章次)。◇5月16日、浦和市本太の送電線で1羽鳴いていた(浅沼源太郎)。

アカショウビン ◇5月13日、秩父市の三峰駅付近で1羽鳴く(宮崎章次)。

アカゲラ ◇5月3日、児玉町の間瀬湖周辺で1羽(独協大学生物研究会)。

ビンズイ ◇5月6日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で2羽(近藤 崇)。

カワガラス ◇4月29日、秩父市浦山細久保谷で♂♀各1羽。巢にヒナがいる。5月5日、ヒナ巣立つ(宮崎章次)。

コマドリ ◇5月6日、両神村白井差小屋付近で♂1羽(宮崎章次)。◇5月13日、秩父市浦山で2羽(宮崎章次)。

ノビタキ ◇5月3日、本庄市の阪東大橋下流のアシの小枝で1羽(町田好一郎)。

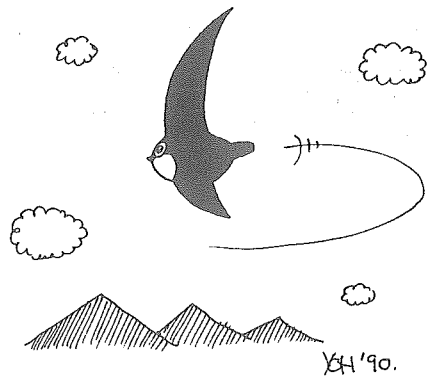
クロツグミ ◇5月16日、秩父市の武甲山で1羽(宮崎章次)。

トラツグミ ◇5月6日午後10時頃から、両神村白井差小屋付近で1羽鳴く。コノハズクと夜明け頃までよく鳴いた(宮崎章次)。

アカハラ ◇5月6日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(近藤 崇)。

オオヨシキリ ◇4月28日、北本市石戸宿で1羽(立岩恒久)。◇5月2日、上尾市原市沼で1羽(浅沼源太郎)。

エゾムシクイ ◇5月1日、浦和市秋ヶ瀬の



子供の森で1羽(近藤 崇)。

センドタイムシクイ ◇5月1日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(近藤 崇)。

キビタキ ◇5月3日、戸田市道満の釣り堀の林で♂1羽(駒崎政雄)。

オオルリ ◇5月3日、秩父市の羊山公園で2羽(宮崎章次)。◇5月6日、両神村の白井差小屋で♂2羽他多数鳴く(宮崎章次)。

クロジ ◇5月6日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で♂1羽(近藤 崇)。

コイカル ◇5月6日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(近藤 崇)。

コムクドリ ◇4月28日、本庄市の阪東大橋下流のネコヤナギの枝で♂♀各1羽。初めて写真を撮れて「バンザ〜イ!」(町田好一郎)。◇4月28日、桶川市のホンダエアポート旧荒川の柳の枝で3羽。キュルリ、キュルリとさえずる(立岩恒久)。◇5月3日、秩父市の羊山公園で2羽(宮崎章次)。◇5月8日、毛呂山町の自宅前で1羽(前田真由美)。◇5月12日、戸田市道満で♂♀各1羽(駒崎政雄)。

ハシボソガラス ◇5月7日午前7時、坂戸市西坂戸で屋根瓦の下から、スズメのヒナをくわえ出して飛んで行く。恐ろしい光景でした(増尾 隆)。

表紙の写真

1990バードフォトコンテスト入選作

ヒヨドリ(ヒヨドリ科)

「ナーンニモいない、ヒヨドリしかいなかった」。「なにかいますか」「いや、ただのヒヨドリですよ」「なんだヒヨドリですか」。「ヒヨドリはもういいよ。あれはヒーヨヒーヨと鳴いているんじゃないくて、イイヨ、イイ

ヨ、もうイイヨって聞こえるね」。「冬のエサ台にヒヨドリが来ると、みんな食べちゃいますね」「あれはこまったトリですね」。

何を言われても、ニコニコ機嫌よく、元気に生きていこうぜ。(海老原美夫・浦和市)

行事あんない



野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。参加費は、一般＝100円、会員及び中学生以下＝50円。受付は探鳥会当日です。特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かしたり、植物を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発！

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月12日（日）

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前

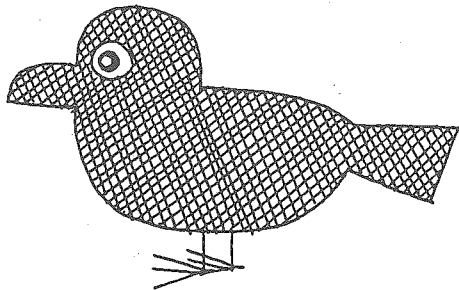
交通：秩父鉄道熊谷9：00発→大麻生9：10着
／ 秩父鉄道寄居8：52発→大麻生9：10着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、林滋、町田好一郎、小淵健二、逸見嶮、関口善孝、高橋夕香子、田口浩司、宮坂亨

見どころ：まぶしい夏空、かがやく翼。入道雲を背景に、とびかう鳥影は何？ 今日暑暑い一日になりそうだけど、しかし、いくら暑くても、季節は変わり始めているのです。

暑苦しい体色に
涼しい瞳…。
それがボクの魅力です。



(榎本秀和)

識別講座「カモメの仲間」

とき：8月12日（日）午後2時～4時ごろ

会場：埼玉会館 6階6C集会室（浦和駅西口から県庁通りをまっすぐ県庁方向へ西進、徒歩5～6分右側）

案内：カモメ類の少ない真夏に、海のない埼玉でカモメのお勉強。たまには涼しい室内で爽やかなひとときを。大麻生の探鳥会が終わってからも間に合います。

講師：志村英雄（『野鳥』編集委員長・本野鳥記録委員会委員・千葉県支部事務局担当幹事）著書多数。何でも知っている人です。カモメ以外のことでも何かききたいことがあったら、この日がチャンス。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月19日（日）

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または午前9時 浦和市立郷土博物館前（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、手塚正義、伊藤芳晴、笠原伸子

見どころ：草いきれに包まれて、軽い散策。暑い日が続くけれど、よく見れば、鳥や野草の装いはそろそろ夏から秋へ…身近な自然の中に秋の気配を探しましょう。

千葉県・谷津干潟
関東ブロック支部合同探鳥会

期日：8月26日(日)

集合：午前9時 武蔵野線南船橋駅前

交通：北朝霞7:48→武蔵浦和7:55→南浦和7:58→南越谷8:09→南船橋8:47着

解散：午後2時ごろ

担当：海老原美夫

見どころ：早くも秋の渡りをはじめたシギ、チドリたちを横目に、熱いアサリ汁をフッフッフ。おいしいぞ。

準備するもの：千葉県支部こころづくしのアサリ汁も、今年が最後になりそう。お箸・おわんと実費をご用意ください。

嵐山町・菅谷館跡探鳥会

期日：8月26日(日)

集合：午前9時 東武東上線武蔵嵐山駅前

交通：東武東上線川越8:13発特急→東松山8:32→武蔵嵐山8:41着 / 東武東上線寄居8:16発、小川町駅で8:33発急行乗り継ぎ、武蔵嵐山8:41着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、橋本博夫・千枝子、林滋、町田好一郎

見どころ：旅の途中のシギ君、見つけた。照りつける日射しは夏そのものだけど、瀬にたたずむシギの姿に季節のうつろいを実感。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：9月1日(土) 午後1時～3時ごろ

会場：支部事務局(浦和駅西口を出て左側、三菱信託銀行と日建ハウスの間に入って進み、信号ひとつ渡ってY字路の右、茶色5階建マンション1階=徒歩5分)

案内：事務局はボランティアでいっぱい。会員の善意だけで支えられている我が支部の姿を、あなたの目で確認してみませんか。

野鳥写真クラブ定例会

とき：9月1日(土) 午後3時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ
案内：暑い日中は野鳥もなかなか姿を見せないもの。こんなときはスライドで探鳥というのはどうでしょう。

第7回初級リーダー研修会

とき：9月2日(日) 午前9時～午後4時

場所：浦和市立コミュニティーセンター

申込み：支部事務局か中島普及部長

まで。

案内：会員の善意だけに支えられて、あっという間に全国でも屈指の支部に成長した埼玉県支部。支部では今、あなたの力を必要としています。支部の活動を支えるボランティアにあなたも加わってみませんか。参加資格は支部会員であること。必要なのは、鳥の識別能力ではなくて熱意です。ほんのちよっとの勇気で、あなたのバード・ライフはより充実したものに変わるでしょう。

9月8日(土) 神奈川県・多摩川河口探鳥会
9日(日) 熊谷市・大麻生探鳥会
16日(日) 浦和市・三室地区探鳥会
23日(日) 寄居町・鐘撞堂山探鳥会
30日(日) 本庄市・阪東大橋探鳥会
川口市・差間探鳥会

愛知県・伊良湖岬探鳥会(予約募集中)

期日：10月9日(火) 夜行～10日(水・祝)

集合：9日午後9時 大宮駅東口

費用：9,000円ぐらいの予定(参加費、バス代、保険料など)

定員：40名程度(先着順、支部会員優先)

申込み：往復葉書に住所、氏名、電話番号、年齢、性別を書いて北川慎一

まで

担当：北川慎一、松井昭吾、草間和子

見どころ：壮大なタカの渡りをみんなで。あの有名な伊良湖岬へ、夜行日帰りのバスの旅。サシバやハチクマ、ハヤブサの仲間の雄姿をたっぷり見られるとなれば、猛禽ファンならずとも大感激！きっと大満足のツアーです。

行事報告

4月22日(日) 北本市 石戸宿

人 32人 **天気** 曇 **鳥** カワウ コサギ
サシバ コジュケイ キジ コチドリ キジ
バト コゲラ ヒバリ ツバメ セグロセキ
レイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス
シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオ
ジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ
カケス オナガ ハシボソガラス ハシブト
ガラス(27種) 心掛けのいい参加者ばかりだ
ったようで、集合前と解散後に小雨が降った
が、探鳥中はなんとかもった。集合時に早く
もサシバが出現。頭上に来てくれたのでじっ
くり観察できた。その他、カワウの編隊飛行、
渡りと思われるヒヨドリやカケスの群れが数
度見られた。新緑がきれいだった。

4月29日(日) シギ・チドリ類一斉調査

がんばった人 荒木恒夫、石井智、伊藤芳晴、
榎本秀和、海老原教子、金井敦美、金井祐二、
佐久間博文、佐藤晶人、鈴木忠雄、諏訪隆久、
竹内設雄、竹内のり子、手塚正義、登坂久雄、
長谷部謙二、林滋、福井恒人、逸見嶮、町田
好一郎、三田長久(21人) 皆さんどうもご苦
労様でした。

4月30日(休) 茨城県岩井市 菅生沼

人 38人 **天気** 晴 **鳥** カイツブリ アマ
サギ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ
オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハ
シビロガモ ホシハジロ チョウゲンボウ
コジュケイ キジ オオバン コチドリ ム
ナグロ ツルシギ アオアシシギ ユリカモ
メ シラコバト キジバト ヒバリ ツバメ
ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウ
グイス オオヨシキリ シジュウカラ ホオ
ジロ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソ
ガラス ハシブトガラス(37種) 強風のため、

期待したほど鳥が出なかったが、それでもさ
すがは菅生沼。冬鳥、夏鳥、旅鳥が一緒に見
られた。田圃ではムナグロ30羽位と、夏羽の
アマサギ、沼では10羽位の夏羽のツルシギも
見られた。

5月11日(金)~21日(月)

バードウィーク写真展・さいたまの野鳥

出品者 市川計彦、海老原美夫、北川慎一、
鈴木秀男、登坂久雄、林滋、増尾隆、町田好
一郎(以上写真)、山岸昭治(カービング)

展示・撤去作業 海老原美夫、山岸昭治

会場でカスミ網一般販売禁止の署名も。今
年も好評の展覧会だった。

5月12日(土) 長野県 軽井沢

人 12人 **天気** 曇後晴 **鳥** カルガモ ト
ビ オオタカ キジバト ジュウイチ カッ
コウ ツツドリ ホトトギス アオゲラ ア
カゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ
セグロセキレイ ビンズイ サンショウクイ
ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ コルリ
マミジロ アカハラ ヤブサメ ウグイス
センダイムシクイ キビタキ オオルリ エ
ナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ゴジ
ュウカラ ホオジロ ノジコ アオジ イカ
ル ムクドリ カケス ハシボソガラス ハ
シブトガラス(40種) 金曜日の夜行で現地
に行くスケジュールのせいか、例年より参加
人数が少なかった。午前4時の小瀬林道、周囲
が明るくなりだすと、ミソサザイのすばら
しい歌声が聞こえ始め、すっかり眠気も覚
めて探鳥会のスタート。コルリ、マミジロ、
アオジなども一斉に鳴き始めた。コースを
小瀬林道から野鳥の森と取って、オオルリ、
ノジコ、キビタキ、サンショウクイなど
を存分に楽しむことができた。

5月13日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

人 39人 天気 晴 鳥 ダイサギ チュウサギ コサギ カルガモ キジ バン ムナグロ ハマシギ アオアシシギ タカブシギ キアシシギ チュウシャクシギ タシギ キジバト カッコウ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ オオヨシキリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(29種) バンのおでこ、ムナグロの胸黒、ハマシギの腹黒、タシギの背中、みんなホントに鮮やか。M地区のS川の冬羽の鳥たちと同種とは思えないくらい。(Kさん、ごめんなさい。)カッコウも良く鳴いていた。

5月13日(日) 蓮田市 黒浜沼

人 16人 天気 曇時々晴 鳥 カイツブリ ゴイサギ アマサギ コサギ カルガモ コジュケイ キジ ムナグロ キジバト カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ツグミ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス(23種) 田植の終わった田圃のあぜ道を歩き、ムナグロ10数羽やアマサギの夏姿をウォッチング。元荒川沿いでは、カイツブリ、ゴイサギ、オオヨシキリ等を十分に楽しめた。残念ながら、黒浜沼には釣り人が多くて鳥は少なかった。

5月13日(日) 熊谷市 大麻生

人 38人 天気 晴時々曇 鳥 カルガモ チョウゲンボウ コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ シロチドリ ムナグロ キョウジョシギ ハマシギ キアシシギ イソシギ コアジサシ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(31種) 夏を目前にした大麻生。あちらこちらで子育てが行われていた。巣立ち雛に餌を与えるセグロセキレイ、巣材を運び込むシジュウカラ、卵を温めるコアジサシ、みんなじっくり観察。心配なのは鳥の聖域で

あるはずの荒川の中州に鳥の写真を撮る人がいたことだ。鳥の生活を脅かすようなマナー違反をする人には、写真を撮る資格はない。

5月13日(日) 川越市 西川越

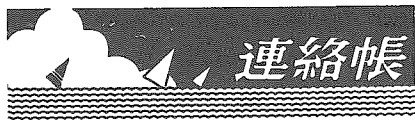
人 33人 天気 晴 鳥 ゴイサギ アマサギ コサギ カルガモ コジュケイ キジ コチドリ キアシシギ イソシギ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(27種) 5月だが、薫る風も吹かず、蒸し暑い日。スタートしてコチドリ、ウグイスとまずまずの出足。初雁橋付近でスズメ親子が水浴び。カワセミとキジは3カ所に現われたが、なぜかこの日は顔だけ!あの美しい色合は見られなかった。コースも終り頃、オオヨシキリの声。あたりはすっかり夏の装い。

5月19日(土) ミニ勉強会「リゾート法とゴルフ場」

ゴルフ場の農業問題に関するビデオをみてから、栃木県支部副支部長の高松健比古さんの話を聞き、その後自由討議。参加者8名というのは少し寂しかったが、議論は白熱。野鳥の会として取り組むべき方向は……深まった認識をベースに、新たな歩みが始まる。

5月20日(日) 浦和市 三室地区

人 62人 天気 晴 鳥 ゴイサギ カルガモ コガモ コジュケイ バン コチドリ キアシシギ イソシギ シラコバト キジバト カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(28種) 新聞に掲載されたこともあって、参加者多数となり盛り上がった。カッコウ、キアシシギと初夏を彩る鳥たちが現われ、昨年は7月に見られたバンが早くも出現。カルガモもカップルが多かった。



傷病野鳥の連絡先

弱ったりけがをした野鳥に出会った時は、埼玉県から委託を受けている次の保護診療機関にご相談ください。

- 草加 浜坂動物病院 0489-24-7446
- 春日部 森田一犬猫病院 048-735-0532
- 川口 池谷犬猫鳥の病院 0482-66-6611
- 浦和 バードクリニック 048-822-1759
- 大宮 エンゼル動物病院 048-663-2300
- 上尾 川口ペットクリニック 048-781-2257
- 桶川 ナカムラペット病院 048-771-7970
- 熊谷 あらい犬猫鳥の病院 0485-25-5282
- 籠原獣医科大学 0485-32-1663
- 川田動物病院 0485-25-2284
- 坂本家畜医院 0485-21-2771
- 深谷 アニマルクリニック 小林 0485-73-1906
- 田坂どうぶつ病院 0485-71-0508
- 志木 嵯峨獣医科クリニック 0484-71-3567
- 所沢 所沢愛犬病院 0429-22-2929
- 東松山 大山獣医科医院 0493-22-3705
- 秩父 浅見獣医科医院 0494-22-1176

カスミ網シンポジウムに参加

全国カスミ網問題シンポジウムが6月30日(土)7月1日(日)の2日間、岐阜県勤労福祉センターで開催され、埼玉からは福井恒人幹事が参加しました。

会員の展覧会

支部会員の登坂久雄さん(八王子市)が、友人3人とともに『野鳥と自然の写真展・鳥写四人展』を開催します。8月2日(木)～5日(日)浅草公会堂展示ホール 入場無料

会員の本

松田喬さん(上尾市)が、友人と共著で、『鳥の研究・カッコウの子育て作戦』(あか

ね書房 1,300円)を出版しました。浦和市秋ヶ瀬地区でのカッコウの托卵数など、興味ある調査結果と、正確な観察、素晴らしい写真が見どころです。

7. 8月の土曜日当番(2時～6時)

- 7月7日 登坂久雄 五十嵐浩
- 7月14日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 7月21日 松井昭吾 角田真喜子
- 7月28日 袋づめの会(1時から)
- 8月4日 中島康夫 笠原伸子
- 8月11日 林 滋 小林恒雄
- 8月18日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 8月25日 町田好一郎 立岩恒久
- 9月1日 袋づめの会(1時から)

ご寄付と支部賛助会費

岡村榮10,000円、斉藤チエ子3,000円、鈴木忠雄50,000円、積水ハウス(株)埼玉営業所30,000円、戸隠探鳥会参加者2,120円、藤原寛治8,000円(支部賛助会費)、堀越照雄5,000円、松井昭吾3,900円。ありがとうございました。(50音順、敬称略)

会員数は

7月2日現在1,435人です。

所沢市内のザ・ステイツ所沢アルカディアンの入居者105人の一括入会がありました。



1988年9月号から「行事あんない」の執筆を担当して丸2年。今月号を最後に担当を辞することになりました。2年間というものが、自分なりに頑張ってきたところではあります。にわかに公私ともに多忙となり、小林みどり幹事と交代することになったものです。

これまでご声援を戴いた会員の皆様、ならびにカット・イラスト等で協力してくれた妻と娘に感謝の意を表して退任の挨拶といたします。(榎本秀和)

『しらこぼと』1990年8月号(第75号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062

〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)